

手すり用滑り防止用具の研究

Improvement of Slippery Metal Handrail

北山 一郎、小山 美代
KITAYAMA Ichiro, KOYAMA Miyo

藤村 明輝、津村 和子（住友ゴム工業株式会社）
FUJIMURA Akiteru, TUMUA Kazuko（SUMITOMO RUBBER INDUSTRIES, LTD.）

キーワード：

手すり、滑り止め、ゴム

Keywords:

Handrail, Prevention of slip, Rubber

Abstract:

It is one of the most important points that the handrail is not slippery in standing up from toilet seats. We put rubbers on which we developed to improve prevention of slip to handrails. Through field test in the hospital and other facilities, we try to modify it and make a practical rubber system.

1 はじめに

病院等のトイレにおいて、片麻痺者や回復期の利用者等が立ち上がる際に、手すりが非常に重要な役割を担っている。しかし、病院などのトイレの手すりはステンレスなど金属できており、これを直接握って立ち上がろうとすると、手が滑って立ち上がりにくいという問題がある。このため、当病院ではビニールテープを巻くなどを行っているが、テープが剥がれてくる、見かけ上良くないなどの問題があり、改善の要望が寄せられていた。これに対し、滑り防止用具が数点市販化されている。しかしこれらに対する看護師の意見は、テープ上で巻き付けるタイプのものは取付けやすいが立ち上がりの保持性が十分ではない、チャックをはずして装着するタイプのものは、握った時少しぶかぶかごわごわした感じがある、などであった。

そこで、装着が容易で滑りにくく金属手すりに後付けで装着できる滑り防止用具（ゴム）の開発を目指し、開発をスタートした。

2 試作と評価

試作、試用評価、改良を繰り返し、図1のようなタイプの実用化を目指したモデルを製作した。

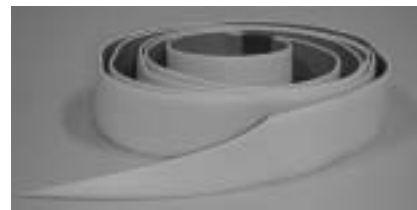


図1 手すり用滑り止めゴム

Fig.1 Rubber developed by the project



図2 ステンレス手すりへの装着例

Fig.2 Handrail with slip prevention rubber

当センター中央病院のトイレ等の約15箇所に同ゴムを設置し、現在、試用評価を行っている。看護師、および利用者から、当ラバーを手すりに装着することにより、便座からの立ち上がりや車いすからの移乗が容易となり、また、見かけもきれいで、握ると暖かい、という意見が得られた。

同様のニーズは他の多くの施設からも得られており、非常に有用性が高いと考えられるので、今後、市販化を目指し、改良、開発を続けていきたい。